

# 冬



上山守のとんど祭り(1月13日) 町内のとんど祭りに職員も参加しました。

## 理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

## 基本方針

- 一、私たちは患者さんの立場にたち、安心して満足できる医療を提供します。
- 一、私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
- 一、私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人  
社)玄同会

小島病院



内科 小島 廉平

## 使ってはいけない薬が我々の命を救う？



### — ある心臓の薬のおはなし —

現在、私たちが扱う薬は約2万種類あると言われています。正しい飲み方(投与方法)を守れば効果はありますし、それによって助かる人も少なくありません。

薬がこの世に出るまでには、長期間にわたって様々な調査や試験が繰り返されています。また、発売されたあとも薬の効果について様々な調査が行われています。その中で、「実は今まで意図していなかったこと」、「こういう病気に対して、たまたま使ってみたら意外な効果があった」ということもあり、中には医学の教科書も書き換えてしまうような事もあります。今回はそのような薬のお話をしようと思います。

現在、心不全(心臓が体に必要な血液を送り出せなくなり弱ってしまう病気)の患者さんは増えてきています。心不全の患者さんに服用していただいている薬の一つにβ遮断薬というものがあります。この薬は当初は降圧薬(血圧を下げる薬)として発売されましたが、心臓を休ませる効果もあるため、心不全の患者さんには使ってはいけない(禁忌(きんぎ))薬でもありました(実際医学書にもそう書かれていました)。ところが今から20数年前、アメリカで衝撃的な発表がありました。それまで禁忌と言われていたβ遮断薬をごく少量から追加投与し、少しずつ増量していくと、なんと、死亡率が劇的に改善したという内容でした。これまで心不全の患者さんに対して使ってはいけないとされた薬が、逆に多くの患者さんの命を救うかもしれないという結果に、最初はかなり疑いの目が向けられていました。しかし、他の研究機関や病院でも調査をしたところ、やはり同様の結果が得られた

のです。それまでは「心不全の患者さんにβ遮断薬を出す医者は循環器医(心臓の医者)じゃない！」と言われていたのが、発表のあった十数年後には「心不全の患者さんにβ遮断薬を出さない医者は循環器医じゃない！」と評価が180度変わってしまったのです。

18年前、医学生であった私は、卒業試験および医師国家試験の勉強をしていましたが、このときはまだ心不全の患者さんにβ遮断薬は禁忌という位置づけでした。しかしある試験対策の講義で講師の先生が「もしかすると、あなたたちが医者になったときには禁忌ではなく逆の評価になっているかもしれない」とおっしゃっていたのを覚えています。実際、医師になって循環器医としての勉強を始めたときに、その言葉は現実となっていました。その時私は医学の教科書が書き換えられるということを初めて実感しました。

こういった事例を聞いて時々思うのは、どのようにこのような逆転の発想が出てくるのだろうか？ということ。おそらく初めて報告した医師は、薬が患者さんに及ぼす効果を注意深く見ていたのでしょう。これは非常に患者さんの事を考えている先生にしかできないことです。そういった先生方が結果として患者さんの命を救い、我々が健康でいられる方法を見いだしているのだと思います。同じ医師として非常に感服し尊敬する思いです。

ただ注意していただきたいのは、効果も医師の指示に従った上でのことです。せっかくの薬も逆効果になってしまわないよう、服用の際は医師の指示を守っていただくようお願いいたします。

心不全パンフレット

心不全のおはなし

医療法人(社)玄同会  
小島病院



心不全教育



心不全チーム会議

## ●心不全チーム活動紹介

近年、国内では高齢の心不全患者さんが大幅に増加しています。当院も例外ではありません。そのような背景の中、2019年4月に当院でも「心不全チーム」を発足しました。

構成メンバーは循環器内科医師である小島廉平医師をはじめ、看護部長、各病棟・外来看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、理学療法士と多職種で構成しています。

活動内容は、月1回の頻度でチーム会議を開催し、症例検討などを行っています。その他に、心不全の勉強会の主催や、心不全パンフレットを作成しています。心不全パンフレットは患者さんやご家族へ、生活する上での注意点などを説明するときに使用しています。

チームが発足して半年ほど経過しましたが、まだまだ手探り状態です。今後も患者さんがより良い生活を過ごせることを第一の目標に、スタッフの心不全医療の質の向上や多職種によるチーム活動、心不全教育など更なる充実を目指します。また、地域の方々にも貢献できるような心不全教室の開催なども視野に入れて頑張っていきます。

## オープンカンファレンスのお知らせ

※医療・介護従事者等対象です。  
(職種は問いません)

参加費無料  
当日は軽食をご用意しております。

お問い合わせ

小島病院 地域連携室  
TEL:084-976-1351(代)

会場

小島病院 北館2階講堂  
駐車場は第1～3まであります。  
正面玄関からは入れないため  
右記ルートをご確認ください。



### 第11回 オープンカンファレンス

睡眠薬新時代の処方設計  
～認知症・せん妄・転倒リスクの  
高い高齢者の不眠を考える～



講師

福山市民病院  
精神科・精神腫瘍科 科長  
平 俊浩先生

日時

2020年2月14日(金)  
19:00～21:00

座長

小島病院 副院長  
小島 廉平 (内科・循環器科)

日本医師会生涯教育単位 カリキュラムコード CC:20 不眠1単位、69 不安1単位

### 第12回 オープンカンファレンス

医療的ケアが必要な子どもの  
在宅療養支援について

講師

東邦大学看護学部看護学科  
在宅看護学研究室  
倉田 慶子先生  
(小児看護専門看護師)

日時

2020年3月13日(金)  
18:30～20:00

座長

小島病院 地域医療部長  
佐藤 千秋 (認定看護管理者)

### 日本医師事務作業補助研究会 第9回全国大会

日時: 2019年11月9日~10日 場所: 福岡国際会議場

演題

事例からみた医師事務作業補助者の役割  
~外来・入院・在宅療養を通して~

発表者 診療支援室 高田 綾子



1 神経難病患者さんの1事例を通して、医師事務作業補助者が行ってきた医師への診療支援業務を振り返り、その中で見てきたチーム医療の一員としての役割について発表させていただきました。また、全国の医師事務作業補助者のそれぞれの病院での取り組み等も聞くことができ、とても刺激になりました。そして医師事務作業補助者の今後の課題も見え、大変有意義な時間でもありました。間接的ではありますが、私たちの医師への診療支援業務が医療の質向上や患者さんの満足度向上につながるようにこれからも精進していきたいと思っております。

### 第7回日本難病医療ネットワーク学会 学術集会

日時: 2019年11月15日~16日 場所: 九州大学医学部百年講堂

演題

パーキンソン病患者の気分障害と  
自己評価の関連性について

発表者 リハビリテーション科 樋上 紘子



2 パーキンソン病の非運動症状は近年注目されており、その中でも気分障害は身体機能や日常生活動作に様々な影響を及ぼすことが言われています。この度、11月に開催された日本難病医療ネットワーク学会学術集会に参加し、パーキンソン病患者の気分障害と自己評価の関連性について報告しました。大変光栄なことに優秀演題候補に選出させて頂きました。今後も研究を重ね臨床に活かしていけるよう努めて参ります。

### 第25回瀬戸内医療情報ネットワーク勉強会

日時: 2019年11月16日 場所: 専門学校岡山ビジネスカレッジ

演題

学会に向けてカルテからどのように  
データを出したか~新卒の経験録~

発表者 診療情報管理室 田原 風香



3 診療情報管理室では、医師が学会発表で使用するデータ作成を行っています。この度その業務について新卒診療情報管理士としてどのように取り組んだのか発表を行ったところ、最優秀賞を受賞致しました。データ作成業務において、医師とのコミュニケーションの大切さや自分自身のスキルアップに繋がることが分かりました。この賞を励みにこれからも正確なデータ作成を行い、病院に貢献できるよう努力していきたいと思っております。

### 第26回福山医学祭 日時: 2019年11月17日 場所: 福山市医師会館

演題

医療介護関連肺炎クリニカルパスから  
見えてきた地域包括ケア病棟の役割

発表者 診療情報管理室 田原 風香

2017年より医療介護関連肺炎クリニカルパスの運用を開始しました。運用1年後にパス使用患者を調査した結果、肺炎軽快後も栄養摂取方法の検討やリハビリ等多職種で総合的な治療や支援を行っていることが分かりました。また、当院地域包括ケア病棟が在宅復帰支援としての一役を担っていることも再認識することができました。今後も診療情報管理士としてパス運用に積極的に関わっていききたいと思います。

演題

グアーガム加水分解物を用いた  
神経難病患者の排便コントロール

発表者 看護部 木曾 由香梨

療養病棟で日常行っている排便コントロールが正しいのかと疑問に思い、排便日誌を記入し排便状況を把握しながら、便秘改善や腸内細菌叢改善の効果があるグアーガム加水分解物を使用しました。その結果、便の性状が改善し腸刺激性下剤を減量することが出来ました。その取り組みを福山医学祭で発表させていただきました。今回の取り組みに限らず、当たり前のように行っている看護・ケアについても常に患者さんの視点に立ち、問題意識をもって看護を実践していきたいと思っております。



### 第39回日本看護科学学会

日時: 2019年11月30日~12月1日  
場所: 石川県立音楽堂他

演題

訪問看護師の在宅看護実践能力評価尺度  
の信頼性・妥当性の検討

発表者 地域医療部長 佐藤 千秋

(抄録抜粋)既存の2つの尺度を用いて「在宅看護実践能力評価尺度」を作成したので信頼性・妥当性を検証する。【方法】探索的因子分析。【結果】47項目の因子分析結果、42項目で主因子法・プロマックス回転を行った。42項目5因子構造(命名)を得た。尺度全体のα係数は0.968、累積寄与率は62%。【考察】統計学的に信頼性と構成概念妥当性が確認された。

### 第27回日本慢性期医療学会

日時: 2019年12月3日~4日 場所: 大阪国際会議場

演題

蜂窩織炎炎症数から見たスキンケア  
の有効性

発表者 看護部 森井 沙織

高齢者の皮膚は、乾燥や皮膚の菲薄化によりスキントラブルを起こしやすいと言われております。そのため、療養病棟では2017年からスキンケアについて重点的に取り組んできました。今回日本慢性期医療学会へ参加し、療養病棟で行ってきたスキンケアの有効性について発表させていただきました。私たちが日頃行っている看護ケアが良い結果に結びつき、また、このような大きな学会で発表できたことは、療養病棟スタッフの自信に繋がりました。今後は、更なる看護ケアの質の向上に努めていきます。



## 第10回小島病院 オープンカンファレンス

**日時** 2019年10月24日(木)18:30~20:00

**場所** 小島病院 北館講堂

**演題** 「PFM(Patient Flow Management)と効果的な人材活用について」

**講師** 東海大学医学部付属病院  
副院長・看護部長 横田 弘子先生

10月24日(木)に東海大学医学部付属病院 副院長・看護部長 横田弘子先生をお招きし、「PFMと効果的な人材活用について」のご講演を頂きました。

PFMとは入院前から患者さんが抱える身体的・社会的・経済的問題を明らかにし、退院までにこれらの問題を解決してスムーズな退院につなげる仕組みのことであり、患者さんの情報を入院前に把握し、病棟看護師の業務負担を軽減させることや、病床管理の合理化にも効果的であることなどお話しいただきました。また、看護師の働き方の多様化に対しての人材活用方法についてもお話しくださいました。当院はまだ入院前支援の構築は出来ておらず、今後の導入において大変参考になりました。また地域の看護管理者の方々からも多くの質問があり、大変有意義なカンファレンスとなりました。

外来 看護師長 足立千恵

## なかしま健康福祉まつり

**日時** 2019年10月27日(日)10:00~11:00

**場所** 中島集会所

**演題** 当院によくある泌尿器の病気

**講師** 泌尿器科部長 大口 泰助医師

**演題** 介護保険制度について

**講師** 地域医療部長 佐藤 千秋

この度、駅家町中島地区で行われた「なかしま健康福祉まつり」にて出前講座を行いました。前座は地域連携室佐藤看護師(ケアマネジャー保有)による「介護保険制度について」、メインは大口泌尿器科部長による「当院によくある泌尿器の病気」でした。1時間ほどのお話でしたが、ご出席いただいた地域住民の方々からは、主に大口医師へ自身の病気や検査について質問が寄せられ、とても勉強になったとお声をいただきました。これからも当院は当地域の健康増進にお役に立てられるように活動して参りたいと思います。地域の方々、お気軽にお問い合わせください。



担当部署:地域連携室

## 第8回ケアマネジャー対象勉強会

**日時** 11月15日(金)18:30~19:30

**場所** 小島病院 北館講堂

**演題** 小島病院の退院支援をケアマネジャーとの介護連携

**講師** 地域医療部長 佐藤 千秋

この度「小島病院の退院支援をケアマネジャーとの介護連携」と題して、地域連携室から地域のケアマネジャーの方々へ退院支援についてお話しさせていただきました。退院支援・介護連携については、以前も同会でお話ししたのですが、さらに患者さんへの支援を充実させたいため、企画させていただきました。ただ「顔の見える連携」ではなく、院内外多職種で本気で患者さんをどう「支援」するのか、要は「意思決定支援」ができる人材になることではないか、そのためには高い倫理観、最近話題のACP、様々なガイドラインを知っておく必要があるのではないか、などお話しさせていただきました。今後も地域と密着して活動して参りたいと思います。

### アンケート一部抜粋

- 知らないことが多かったのでまた読み返します。
- 病院内のことはわからないことだらけ。聞きづらさもありましたが、とてもはつきり答えてくれて良かった。
- 施設入居者が入院された時ほとんど伺っていないので、今後は何うようになります。電話ではいつも情報をいただきありがとうございます。

担当部署:地域連携室

## 第8回小島病院 地域講演会

**日時** 11月24日(日)10:00~11:20

**場所** 小島病院 北館講堂

**演題** 脳卒中と不整脈の関係って？

**講師** 小島病院 副院長 小島 廉平医師

今回は「脳卒中と不整脈の関係って？」をテーマに地域住民の方対象にお話しさせていただきました。脳卒中、不整脈それぞれの機序と双方の関連、生活上での注意などをお話ししました。地域住民の方々、かかりつけの患者さんなど70名程の方が参加して下さい、「心臓の動きや脳卒中の怖さがわかってよかった」「分かりやすい表現で話してください大変勉強になった」などの感想を頂きました。今後も地域の皆様の健康作りや医療福祉への理解に繋がることを目的として、地域の中で開催させて頂きたいと思っております。次回も地域の皆様の参加をお待ちしております。



担当部署:地域連携室

# 栄養科 紹介

当院の食事は  
業者依頼ではなく、  
管理栄養士、調理員を雇用し、  
真心こもった手作り料理を  
提供しています。



## 栄養科スタッフ

管理栄養士 4名 調理員 6名

私達は『安心と満足を提供できる治療食サービスを目指して』  
を理念とし、日々様々な業務に取り組んでいます。  
患者さんの事を思いやる心を忘れずに、自分たちも幸せな  
気持ちになれるような対応をスタッフ一同、心がけています。



毎月2回以上のご馳走の日を設け、  
患者さんに季節感を味わって頂ける  
ように工夫しています。



噛む事や飲み込みが難しくな  
った患者さんのために色々な形  
態の食事を用意しています。



単調な入院生活での楽しみにな  
ればと、月に何回かバイキング  
を行っています。見晴らしの良  
い5階サニールームでのバイキン  
グはとても好評です。



## サポートチーム

多くの職種で構成された様々なチームの  
一員として活動し、患者さんにとっての最  
良の医療の提供に貢献できるよう研鑽に  
努めています。



療養病棟で行われる季節ごとの  
イベント(ひな祭り会・夏祭りな  
ど)ではおやつを用意して盛り  
上げます。



# 栄養科 だより

vol.11



(2月3日の昼食)

## 今月の行事食 特製巻きずし

「鬼は外、福は内！」今年一年の無病息災を願う  
節分にふさわしい、福を巻き込むにちなんだ  
当院特製巻きずしをぜひご賞味下さい。



## 今月のイッピン！

### 白身魚の蒸しけんちん

白身魚の上に干切り野菜を混ぜた豆腐を  
のせ蒸しあげました。最後にとろりとした  
あんをかけ、しっとりとした口当たり  
仕上げた一品です。



(2月14日の夕食)

2月3日は節分の日です。節分の日には悪いものを  
追い払い、福を呼び込むために豆まきをします。  
その時使用される大豆は、  
とても体に良いとされています。

大豆には次の  
ような栄養素と  
効果があるよ！



## 大豆と健康

- ☆大豆イソフラボン ⇒ 更年期の症状を緩和し、生活習慣病のリスクを軽減
- ☆大豆たんぱく質 ⇒ 動脈硬化の予防、血圧降下
- ☆食物繊維 ⇒ 便秘解消、糖尿病予防
- ☆大豆サポニン ⇒ アンチエイジング(老化防止)、肥満予防
- ☆大豆オリゴ糖 ⇒ 便秘防止、風邪予防、美肌効果
- ☆脂質 ⇒ 美肌効果、アルツハイマー型認知症の予防

大豆にはたんぱく質や脂質、ビタミン、カルシウムなど沢山の栄養素が  
含まれています。積極的に摂取して毎日を元気で過ごしましょう。

栄養科だよりは毎月発行しています。  
院内の掲示やホームページでもご覧いただけます。

ホームページ  
<https://kobatake.or.jp>



# デイサービスむべやま 増築(個浴)のお知らせ



デイサービスむべやまは、従来、大浴場や要介護状態の方のための特浴を設置していましたが、この度、ご利用者や地域のケアマネジャーさんからの要望により、個浴を増設致しました。大勢のお風呂は苦手という方、鏡の前でゆっくりのんびりお化粧や整容したい方など、車椅子もしっかり洗面化粧台にフィットする広めの脱衣室としました。従来要介護度が重い方や医療処置がある方をお受けしていましたが、要介護度が軽度で個浴希望の方にも対応して参ります。ご利用については、デイサービスむべやまへ気軽にお問い合わせください。

当院は主として  
次の疾患を専門としています

## 内科

消化器系の病気(胃腸科)、神経系の病気(脳神経内科)および糖尿病内科を中心とした、内科一般。循環器、呼吸器の疾患は専門外来を行っています。

## 外科

一般的な外科の初期治療、腹部疾患の総合的診療、甲状腺疾患

## 泌尿器科

尿路性器悪性腫瘍、尿失禁や排尿障害、尿路結石

## 眼科

白内障、緑内障、眼底疾患、コンタクトレンズ

## リハビリテーション科

脳血管障害、神経及び筋疾患、骨関節疾患などのリハビリテーション

担当医については電話または受付でお尋ねください。

## 当院では人間ドックも 行っています

- 毎年の誕生日健診をおすすめします ●
- 日帰りドック(火・木・金・土)
- 一泊ドック(月・火)または(水・木)または(金・土)  
など気軽に相談ください

## ●外来診療担当表

2020年2月1日現在

科目	曜日	月			火			水			木			金			土		
		午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診
内科	1診	院長		院長	院長			院長		院長	下地(呼)		下地(呼)	原直(神)		原直(神)	院長		楠/石井/藤田(消)
	2診	※1 原直			原			横濱※3 (循)		横濱※3 (循)	原		畑(消)	磯辺※2 (糖)	磯辺※2 (糖)	畑(消)	原		原
	3診	小島廉		小島廉	岩本※2 (糖)	岩本※2 (糖)		小島廉		小島廉	小島廉			小島廉			原直 (第2、4)		
外科	5診	和久		和久	中井		中井	和久		和久	中井		※5	和久		※5	中井		中井
内視鏡診察室(予約)		原	原		津島	津島				畑	畑		畑	畑			楠/石井/藤田		
泌尿器科	1診	大口		大口	大口			大口		大口			宮本				大口		
	2診	宮本			宮本			宮本		宮本	後藤		後藤	山中		山中	宮本		
眼科					瀧川	瀧川		瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川

診療科目:内科・外科・泌尿器科・眼科・脳神経内科・消化器内科・循環器内科・リハビリテーション科

予約制による内視鏡他の検査外来/月・火・木・金・土

## ●外来担当医

内科・脳神経内科	小島 敬太郎 (院長)	内科・消化器内科	石井 学	内科・呼吸器	下地 清史	眼科	瀧川 泰 (部長)
内科・脳神経内科	原 直之	内科・消化器内科	藤田 稔	内科・糖尿病	磯辺 隼人	泌尿器科	大口 泰助 (部長)
内科・消化器内科	原 睦展 (診療部長)	内科・消化器内科	津島 健	内科・糖尿病	岩本 秀幸	泌尿器科	宮本 克利
内科・消化器内科	畑 幸作	内科・循環器	小島 廉平 (副院長)	外科・総合診療	中井 肇 (副院長・外科部長)	泌尿器科	後藤 景介
内科・消化器内科	楠 裕明	内科・循環器	横濱 ふみ	外科・総合診療	和久 利彦 (第2外科部長)	泌尿器科	山中 亮憲

1) ※1 第1、3、5月曜日の9:00~12:00までの診療となります。

2) ※2 9:00~15:00までの診療となります。

3) ※3 9:00~16:30までの診療となります。

【内科】午前 初診 11:00まで 再診(予約なし) 11:30まで

午後 初診 17:00まで 再診 17:30まで

4) ※4 【内科以外の診療科】午前 初診・再診(予約なし) 11:30まで

午後 初診・再診 17:30まで

※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。なお、予約の方および急患の方はこの限りではありません。

※外科・泌尿器科は手術の都合で午後の外来診療が変更になることがあります。

5) ※5 手術がない場合は、外科・総合診療科で受付できることがありますのでお問い合わせください。

6) 学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。

7) 診療予約変更は午後から電話等でご連絡ください。

■受付時間/ ●午前 8:15 ~ 午後 5:30 ※4

■診療時間/ ●午前 9:00 ~ 12:00 (全科)

●午後 3:00 ~ 6:00 (眼科)

●午後 4:30 ~ 6:00 (その他の診療科)

■休診日/ ●日曜日・祝日(全科)

●火・土曜日午後(泌尿器科) ●月曜日(眼科)

■面会時間/ ●平日/午後1:00~7:00 ●日・祝日/午前10:00~午後7:00

こばたけ びょういん  
医療法人  
(社)玄同会 **小島病院**

〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203

TEL(084)976-1351(代) FAX(084)976-6309

https://kobatake.or.jp

